

1. 2050年まで二酸化炭素の排出実質ゼロの取り組みに向けて町の考えは

近年日本各地でこれまで経験のない豪雨が発生し、建物の倒壊など大きな被害と多くの尊い命が失われている。

この原因の一つとして挙げられているのが、地球温暖化である。

地球温暖化が原因とみられる異常気象で、日本だけではなく世界中で様々な自然災害が発生している。

そこで、地球温暖化防止活動が世界各国で推進され、我が国でも2050年まで二酸化炭素の排出実質ゼロ（以下、ゼロカーボンシティ）の取り組みを積極的に推進している。

本町ではゼロカーボンシティを表明し、環境に配慮した新庁舎建設や太陽光発電における、「共同購入事業」「0円ソーラー」の展開、公用車に電気自動車を採用するなどの取り組みを行っている。

しかし、ゼロカーボンシティとして名乗りを上げた以上、町の総力を挙げて取り組まなければ目標を達成することは困難であり、町民一人ひとりの自覚や協力も必要不可欠と考えている。

そこで、ゼロカーボンシティ達成の取り組みについて2050年までの計画（毎年のフレームワーク）と、具体的（アクション計画）にはどのような取り組みをしていくのか町の考えを問う。